

プリセプターを知らない看護師たち

2ndジェネレーション

— 上尾中央総合病院 —

the 2nd Generation Nurses

from Ageo Central General Hospital

2008年度から、プリセプター制度を廃止した上尾中央総合病院。
今年はいよいよ、プリセプターを知らない第二世代が入職！
新しい環境で、新人さんはどのように成長しているんだろう？
新人さんと、第一世代の先輩にインタビューしてきたよ！

脳神経外科・眼科混合病棟

2年目ナース石井さん × 1年目ナース田澤さん



2年目ナース 北島 高久 さん
上武大学看護学部卒業

the 1st Generation Nurse

the 2nd Generation Nurse

1年目ナース 井上 典子 さん
上尾中央看護専門学校卒業



2年目ナース石井 絵理香 さん
国際医療福祉大学卒業

the 1st Generation Nurse

the 2nd Generation Nurse

1年目ナース 田澤 木実 さん
市立函館病院高等看護学院卒業

循環器・心臓血管外科

2年目ナース北島さん × 1年目ナース井上さん



プリセプターを知らない第2世代

1年目ナース 田澤 木実 さん 

ニコニコと優しい笑顔で話す田澤さんは、
入職当初「プリセプターがいなくて大丈夫かな?」と思っていたそう。
期待と不安で胸いっぱいの人ナースはどう成長したのかな?



the 2nd Generation Nurse Konomi Tazawa

いろんな先輩から指導を
受けられる贅沢な環境です

小さい頃から憧れていた看護師になり、学生時代に入職しました。脳神経外科にはちょっぴり苦手意識があったんですけど、ジヨブローテーションで回ってきたときに「雰囲気がいいな」と思って選んじやいました(笑)。
私の勤は当たっていて、思った通り厳しくも優しいステキな先輩方がたくさんいる病棟でした。

渡辺主任は適当なことは決して許さない厳しい面もありますが、マイペースな私を引っ張ってくれる頼りがある先輩。プリセプターがない第1世代の石井さんは、私が焦ってバタバタしていたときに「私も1年目のときはそうだったよ」って声をかけてくれました。叱られてしょんぼりしているときも「大丈夫?」と気遣ってくれて、思わず泣きそうになったほど。去年は新人だったのに、2年目でリーダーまでやっていてスゴイな〜と思います。私も先輩になつたら後輩に頼ってもらえるように、もっともっと頑張らないと!

入職したばかりの頃はプリセプターがいないと聞いて「誰も頼れないのかな...」と不安になったのですが、実際はその逆で、たくさんの先




新人を優しく見守りつつ、ピシッと指導もしてくれる先輩に感謝

輩がいろんな接し方や指導法で教えてくれるということがわかりました。これって、かなり贅沢な状況ですね。脳神経外科・眼科混合病棟に配属されてまだ3ヶ月なので、わからないことはたくさんあるのですが、頼れる先輩方に教えてもらいながら、もっと仕事ができるようになりたいと思っています。

ミスをして落ち込んだときは:同じ病棟内の5人の同期に慰められて復活! 5人のうち3人は寮も同じで、部屋に戻ってから話すこともできるんです。先輩方からよく言われる「同期とは仲良くね」という教えだけは、既にマスターしてます(笑)。プリセプターがいなくても、いないからこそ、多くの先輩たちに指導してもらえて、同期との結束も強くなるのかもしれない。まだまだヒヨコナースだけど、早く一人前になれるよう頑張ります!

プリセプターを知らない第1世代

2年目ナース 石井 絵理香 さん 

先輩から
ひとこと

笑顔がかわいいたく田澤さんはおっとりマイペースだけど、着実に成長していると思います。プリセプターがないからこそ、わからないことを自ら聞いて覚えようという姿勢があるのもいいところ!
第1世代の私たちと同様に同期との繋がりも大事にしているよ。だし、楽しみながら仕事を覚えていってほしいです。わからないこと、困ったことがあればできる限り対応したいと思っています。頑張って田澤さんを応援するよ!



和気あいあいとした雰囲気「いいな」と思って選んだ脳神経外科・眼科混合病棟

プリセプターを知らない第2世代

1年目ナース 井上 典子 さん 

病院付属の専門学校で学んだ井上さんは、「プリセプター制度がない」からこそ、この病院を選んだのだとか。入職後どんなふうにいるか、お仕事の現場を直撃してみたよ。



the 2nd Generation Nurse Noriko Inoue

プリセプターのいない環境で成長するために入職を決意

私は病院の付属専門学校で勉強していたので、この病院にプリセプター制度がないことは入職前から知っていました。不安を感じたことは一度もなく、むしろ、そんな病院だからこそ入職したいと思ったんです。既に看護師として働いている先輩に聞くと、プリセプターと会うのは月に5日〜10日。担当プリセプターにしか質問できないのなら、月に5日は少なすぎます。だったら、プリセプターがいない代わりに、誰にでも質問できる状況のほうが成長できるんじゃないかと考えました。この循環器・心臓血管外科病棟は4つのチームに分かれて動いているのですが、チームにこだわらず、どの先輩にも話しかけられる雰囲気です。自分から「わからないこと」「知らないこと」を積極的に聞いて、先輩に新しいことを教えてもらうと、「明日からまた頑張ろう」という気になれるんですよ。

私が今やっている仕事は、入院患者さんの清拭や洗髪、傷口の消毒、点滴などです。学生時代の実習では1対1で対応すればよかったけど、「プロ」になった今では平均して6〜8人の患者さんに気を配っていか



先輩の北島さんに確認してもらいながら薬剤の種類と数をチェック

ければならないんです。気持ちに余裕をなくしてルーティンワークに追われるようになると不足がちになるのがケア。忙しい中でも時間を見つけて、患者さんが少しでも気持ちいいと思えるように体を拭いたり、髪を洗ったりしたいと思っています。そのためにも、器械の扱いを含めてたくさんのことを学んでいかないと。この病棟に配属されてから3ヶ月経ち、そろそろ夜勤を任せられるようになります。誰にでも、何でも聞ける日勤の時間帯と違って、一人で判断・行動しなければならぬこともいっぱいあるのが夜勤。少し緊張しますが、これから知識や技術を徐々に積み重ねていけばいいかなと思っています。来年、プリセプターのいない第3世代の人たちが入職してきたら、私も「頼れる先輩」の一員に。後輩を支えられる先輩になれたらいいですね。

web「看護師のまど」には、彼女たちの教育責任者が登場!

プリセプターを知らない1stジェネレーションの座談会や看護部長からのメッセージも。お見逃しなく!



 看護師のまど
www.kangoshinomado.com

プリセプターを知らない第1世代

2年目ナース 北島 嵩久 さん 

先輩からひとこと



とても真面目にやっているなという印象です。与えられた仕事にひたむきに取り組んでいる姿勢が素晴らしいですね。周囲とのコミュニケーションはスムーズに取れています。少々溜め込んでしまうこともありそうなので、もっと気楽に話してくれるといいと思います。新人同士で集まって飲みに行ったりしてもいいんじゃないかな。僕自身もみんなと親しくなりたいたいと思うから、新人飲み会のときは誘ってね。先輩である僕がオコッてあげます(笑)。